

愛媛県の地震

2022年（令和4年）10月

目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図	1
2. 地震概況（10月）	1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（10月）	2
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 の震度分布図（10月）	2
5. 地震一口メモ 大津波警報・津波警報・津波注意報、 津波予報について	3

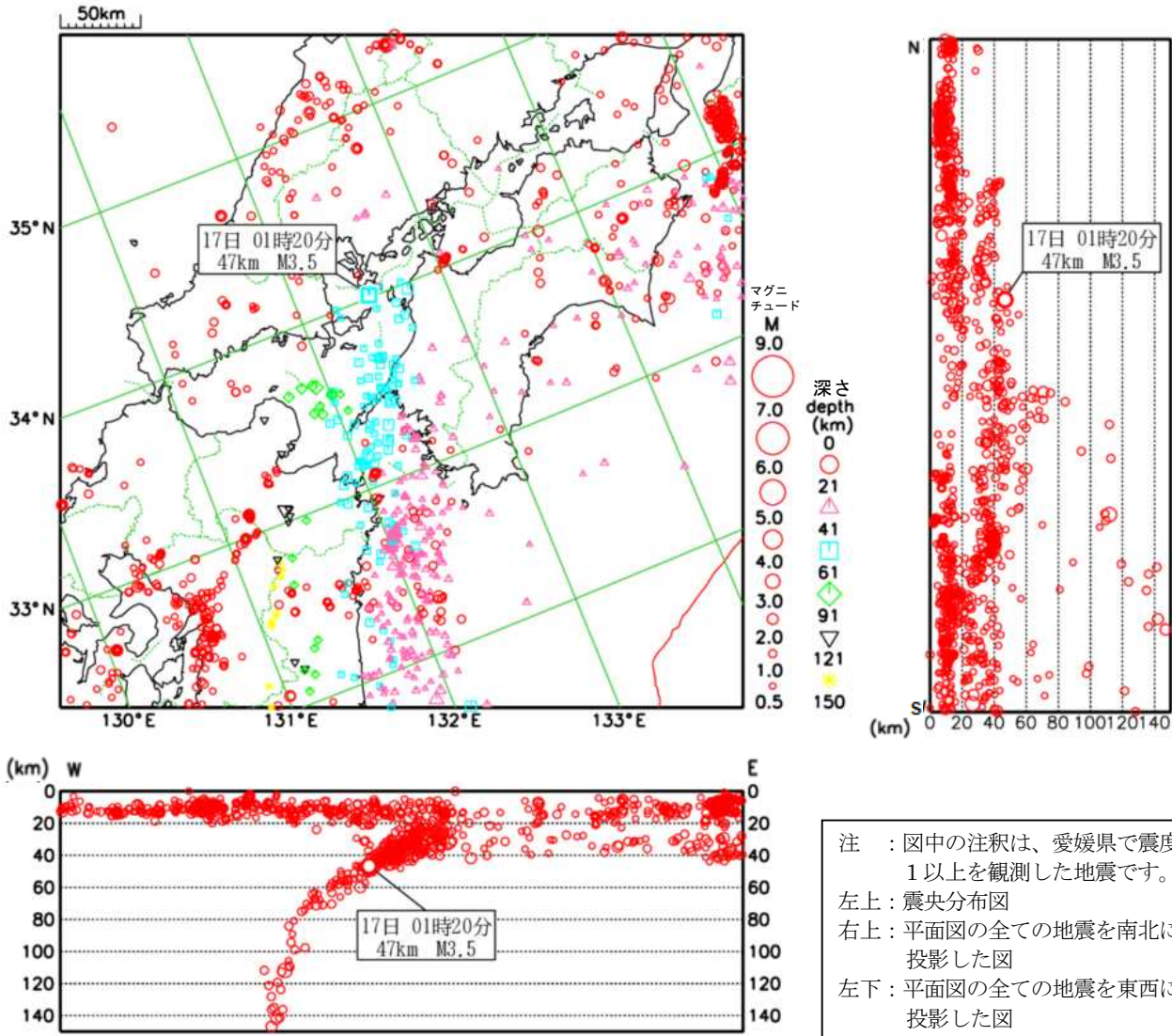
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2022年10月1日～10月31日]



震央分布図は地震が発生した場所を地図上でプロットしたものです。地震は地下で発生しますのでシンボルマークの形を深さに応じて変えています。○より◇の方が深い場所で発生した地震です。また、シンボルマークの大きさで地震の規模（マグニチュード）を表現しています。

2. 地震概況（10月）

今期間に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうちM2.0以上の地震の回数は62回（先月は54回）、愛媛県内で震度1以上を観測した地震は2回（先月は0回）でした。

2日00時02分 大隅半島東方沖の地震（震央分布図範囲外：深さ29km、M5.9）により、愛媛県では八幡浜市で震度3を観測し、県内で震度2～1を観測したところがありました。そのほか、宮崎県日南市で震度5弱を観測し、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度4～1を観測しました。

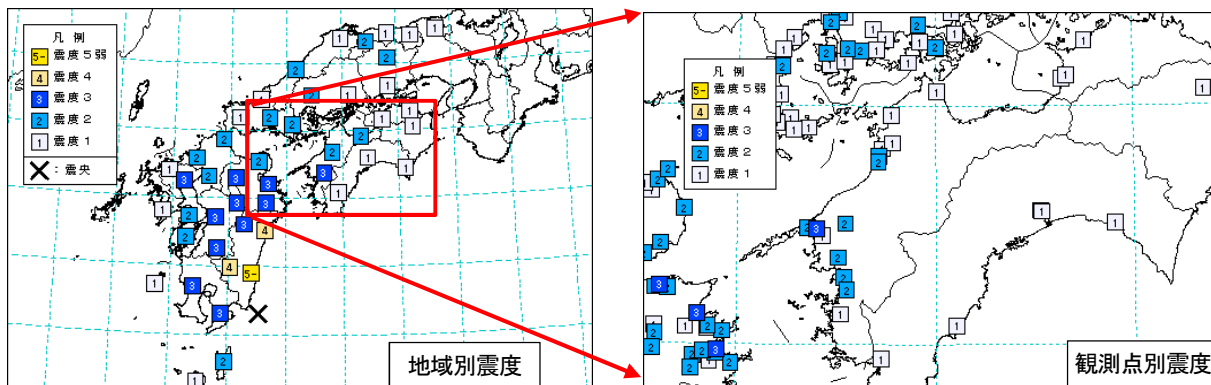
17日01時20分 安芸灘の地震（深さ47km、M3.5）により、愛媛県西条市で震度1を観測しました。そのほか、広島県でも震度1を観測したところがありました。

3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（10月）

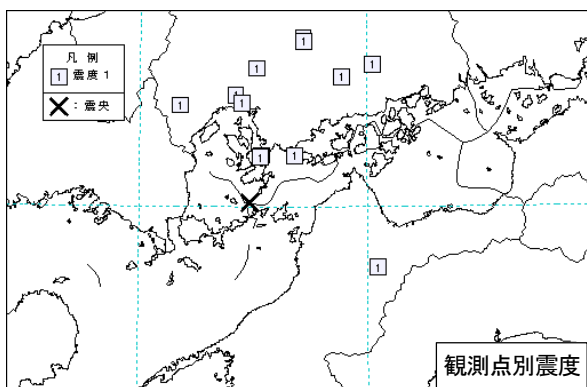
震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2022年10月02日00時02分	大隅半島東方沖	31° 18.7' N	131° 31.3' E	29km	M5.9	最大震度5弱
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 3：八幡浜市保内町*					
	震度 2：今治市大三島町*、伊予市下吾川*、愛媛松前町筒井*、宇和島市住吉町 宇和島市吉田町*、大洲市大洲*、伊方町湊浦*、西予市宇和町*					
	震度 1：今治市南宝来町二丁目、松山市北持田町、松山市富久町*、松山市北条辻* 宇和島市津島町*、八幡浜市広瀬					
2022年10月17日01時20分	安芸灘	34° 00.8' N	132° 29.2' E	47km	M3.5	最大震度1
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 1：西条市丹原町鞍瀬					

注：*印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図（10月）



10月2日00時02分 大隅半島東方沖



10月17日01時20分 安芸灘

5. 地震一口メモ

大津波警報・津波警報・津波注意報、津波予報について

1 大津波警報・津波警報・津波注意報

津波災害が予想される場合、地震発生から約3分（一部の地震※については約2分）を目標に、大津波警報・津波警報・津波注意報を津波予報区単位で発表します。

この時、予想される津波の最大波の高さは、通常は5段階の数値で発表します。ただし、地震の規模（マグニチュード）が8を超えるような巨大地震に対しては、その海域における最大の津波想定等をもとに、予想される津波の高さに「巨大」「高い」等の定性的な表現を用いた津波警報等を発表します。

その後、地震の規模が精度よく求められた時点で津波警報等を切替え、予想される津波の最大波の高さも数値で発表します。

※ 日本近海で発生し緊急地震速報の技術によって正確な震源位置やマグニチュードが迅速に求められる地震

津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (予想される津波の高さ 区分)	巨大地震 の場合の 発表	
大津波警報*	予想される津波の最大波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想される津波の最大波の高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<予想される津波の最大波の高さ≤10m)		
		5m (3m<予想される津波の最大波の高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想される津波の最大波の高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の最大波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想される津波の最大波の高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

*気象庁では大津波警報を「特別警報」に位置づけています。

2 津波予報

津波警報等の解除後も海面変動が継続するとき又は0.2m未満の海面変動が予想されたとき、津波による災害が起こるおそれがない旨を津波予報で発表します。また、津波が予想されないときは、津波の心配なしの旨を地震情報に含めて発表します。

発表される場合	内容
0.2m未満の海面変動が予想されたとき	高いところでも0.2m未満の海面変動のため被害の心配はなく、特段の防災対応の必要がない旨を発表します。
津波注意報解除後も海面変動が継続するとき	津波に伴う海面変動が観測されており、今後も継続する可能性が高いため、海に入っの作業や釣り、海水浴などに際しては十分な留意が必要である旨を発表します。